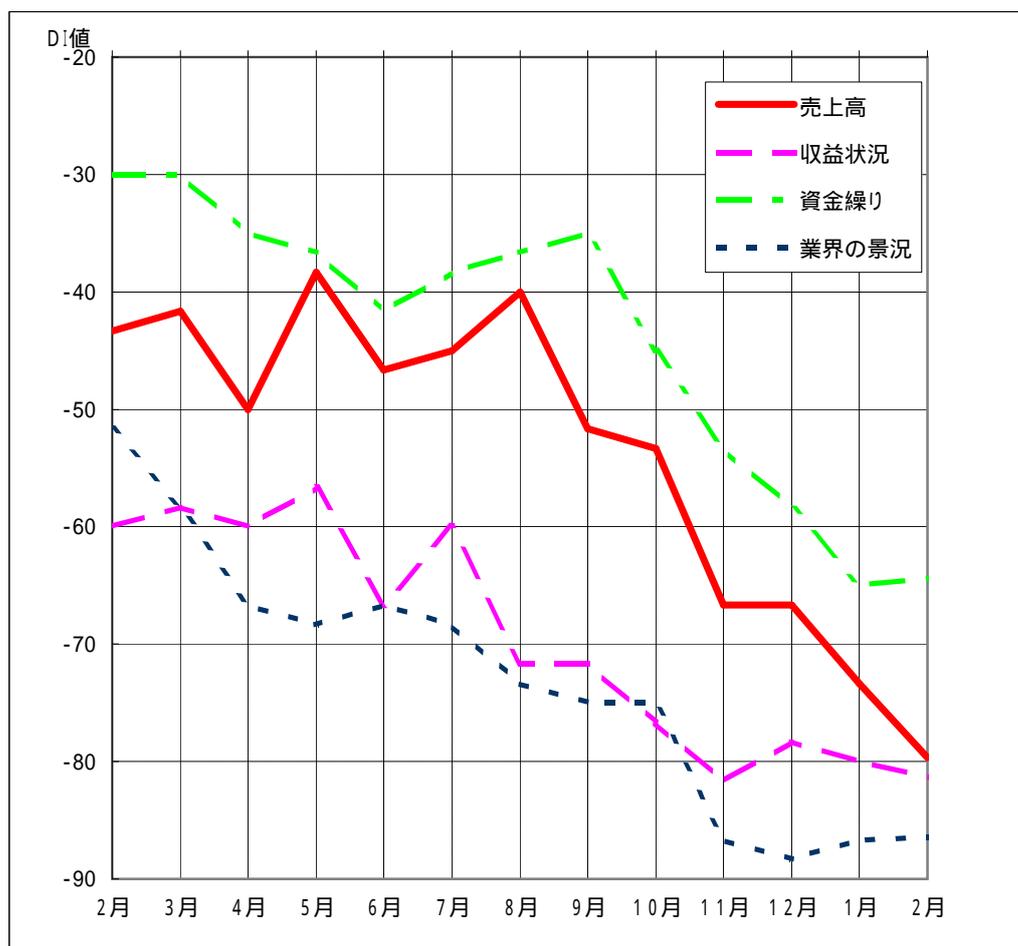


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年2月～平成21年2月

単位:ポイント



	H20												H21	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	-43.3	-41.7	-50.0	-38.3	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7	-66.7	-73.3	-79.7	
収益状況	-60.0	-58.3	-60.0	-56.7	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7	-78.3	-80.0	-81.4	
資金繰り	-30.0	-30.0	-35.0	-36.7	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3	-58.3	-65.0	-64.4	
業界の景況	-51.7	-58.3	-66.7	-68.3	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7	-88.3	-86.7	-86.4	

依然として厳しい経済状況の中、2月のDI値は前年同月より上記全項目で悪化した。「売上高」DIは36.4ポイントの悪化でマイナス70%台へと推移、「資金繰り」DIについては34.4ポイントの悪化でマイナス60%台へと推移した。「収益状況」DIについては21.4ポイントの悪化、「業界の景況」DIについては34.7ポイントの悪化で、ともにマイナス80%台へと転落、引き続き厳しい状況となっている。

組合の特記事項からは、製造業では各業界ともに売上減・収益悪化となっており、月を追うごとにDI値が下降している。また業界の景況についてもマイナス90%台となっており、先行きを懸念する報告が多い。

非製造業についても、製造業同様、売上減・収益悪化・景況悪化とする報告が多く、各DIともにマイナス80%台となっており、依然厳しい状況が窺える。